

第1回 相馬市 議会報告会レポート

～議会をもっと身近に～



相馬市議会では、議会をもっと身近に感じていただくため、初めての試みとして、4月20日（月）～22日（水）の3日間にわたり、各地区公民館を会場とした議会報告会を開催しました。

報告会では、延べ94名の方々にご参加いただき、3月定例会の報告を行ったほか、「震災復興」をテーマに意見交換会を実施し、市や議会に望むことなどについて、率直なご意見をお聞きすることができました。

その際いただいたご意見をご紹介させていただくとともに、ご質問に対する回答として、相馬市議会の考え方や市当局に確認した内容を掲載しています（回答は5月末現在の内容です。紙面の都合上、主なものを掲載しています。詳しい報告内容は各公民館で配布しているほか、市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。<http://www.city.soma.fukushima.jp/gikai/houkoku.html>)

今後とも、相馬市議会が市民の皆さまに身近に感じていただけるよう努めてまいります。

（相馬市議会議員一同）

会場	参加人数	担当議員
中央公民館	34名	【1班】 (班 長) 波多野広文 (副班長) 浦島勇一 (記録係) 杉本智美 (班 員) 新妻香織 石橋浩人 佐藤建雄 村松恵美子
大野公民館		
磯部公民館		
東部公民館	27名	【2班】 (班 長) 根岸利宗 (副班長) 伊東和幸 (記録係) 高橋利宗 (班 員) 鈴木一弘 高玉良一 只野敬三
日立木公民館		
玉野公民館		
山上公民館	33名	【3班】 (班 長) 荒秀一 (副班長) 植村恵治 (記録係) 門馬優子 (班 員) 米山光喜 小泉正人 佐藤満
飯豊公民館		
八幡公民館		



中央公民館（4月20日）



大野公民館（4月21日）



磯部公民館（4月22日）

会場：中央公民館・大野公民館・磯部公民館

いただいたご意見・ご質問	現状と対応方針等
学校の教育現場は多忙と聞きます。心の教育、人格形成を考慮した教育の充実をどう考えていますか。	教員の研修会等を活用させ、可能な限り子供たちとの触れ合いも大事にした教育指導に当たるよう働きかけてまいります。
お互いを助け合う高齢者支援システムを構築し、取り組むべきではないでしょうか。	市は、各地区のボランティア団体の協力を得て「高齢者声掛け訪問事業」に取り組んでいます。今後も市内全域での実施を目指すとの回答でした。
人口減少をみて、50年先、100年先の将来の相馬市について、どのように考えているのですか。	子供を安心して産み育て、暮らせるような地域づくりに市議会として取り組んでまいります。
光陽地区に計画した屋内プールの経緯と今後について教えてください。	50m、8コースの屋内型公認温水プールの予定でしたが、2回の入札不調により計画は取り下げることとなりました。今後は新たな計画で復興庁と調整中です。
各学校に備わるプールの利用及び授業予定について教えてください。	各小学校では、年間10時間程度体育の水泳学習を実施しており、本年度もこの計画で実施する予定です。夏休みについても各学校のプールを開放するとのことです。
学区の乱れ（エリア外通学）の現状と今後の展開を教えてください。	指定された学校の変更は、「相馬市立学校通学区域に関する規則」に定められており、条件により認められています。
磯部にも「子ども公民館」を設置してほしいのですが。	地域の実態を考慮しながら「子ども子育て会議」等でしっかり議論するよう働きかけていきます。
復興住宅はほぼ高齢者世帯となっています。将来、地域としての維持が出来ないのではと不安です。	市は地域住民の交流の場となる生活環境の整備を進めており、引き続き産業復興、地域の維持に取り組んでいくとのことです。
磯部地区のメガソーラーの内容を教えてください。	事業面積約77ヘクタール、発電規模約50メガワット。平成28年度完成、平成29年度からの発電を予定しております。

・報告会を終えて

ご参加いただいた皆さまとの意見交換を通じ、それぞれの地域での課題を肌で感じることができました。今後の議会活動に活かしてまいります。率直なご意見等ありがとうございました。（第1班）



東部公民館（4月20日）



日立木公民館（4月21日）



玉野公民館（4月22日）

会場：東部公民館・日立木公民館・玉野公民館

いただいたご意見・ご質問	現状と対応方針等
市役所庁舎の工事変更について、あの場所の地層が悪いことは前からわかっていたのではないのですか。なぜ、あの場所に計画したのでしょうか。	市は、市役所庁舎建設にあたり、ボーリング調査による地層の確認を行い、工法等を決定いたしました。しかし、杭工事の結果、事前の地質調査では出現していなかった大きな玉石層が判明いたしました。このため、予定していた工法では、支持地盤まで掘削できないことから、工期の延長と費用を追加した変更契約を平成27年3月20日に締結しましたとの回答でした。
議員定数を増やし、日当制にしてはどうでしょうか。	ご意見として承りました。現在、議員定数については、特別委員会において検討しています。
柚木工業団地の企業誘致の見通しを教えてください。	市は、仮設住宅の撤去時期を踏まえた上で、企業立地に向け関係機関と連携しながら、市の将来を考え優良企業の誘致に努めていくとのことです。
仮設住宅での震災関連死の状況はどうなっているのでしょうか。	医師や弁護士など、5名の委員で構成する市災害弔慰金支給審査委員会において、震災関連死の認定を審査しております。これまでに27名の方が認定されました。そのうち、仮設住宅入居者での震災関連死は、1名となっております。
通学路について、一度、除染したのですが、数値の高いところがあります。通学路の再除染をしてほしいのですが。	市は、玉野地区の市道について、再モニタリングを実施することとしております。その際、高線量箇所が発見された場合には、再除染すべく環境省と協議し対応する予定とのことです。市議会としても、再除染の実施を強く要求してまいります。
市長が各地域に出向いて報告会を行うべきではないでしょうか。	現在、その考えはないが、今回の議会報告会で寄せられたご意見を真摯に受け止め、市政を運営していくとのことです。

・報告会を終えて

市民の声をできるだけ多く市政に反映することが議員の使命であると考えます。今回の議会報告会も貴重な機会となりました。出された意見を少しでも市政に反映するよう努めてまいります。

（第2班）



山上公民館（4月20日）



飯豊公民館（4月21日）



八幡公民館（4月22日）

会場：山上公民館・飯豊公民館・八幡公民館

いただいたご意見・ご質問	現状と対応方針等
イノシシ対策として焼却炉をつくると聞いていますが、その進捗状況を教えてください。	市は新地町と共同で、捕獲したイノシシの焼却処分施設を建設することとし、6月議会で議決後に建設に着手する予定です。
仮設住宅の再編と企業誘致を推し進めていくべきではないでしょうか。	市は恒久住宅移行プログラムに基づき、再建方法が決められない方の意向調査を踏まえた上で仮設住宅の再編を検討する予定です。また企業誘致への分譲再開は、仮設住宅撤去の時期を踏まえて関係機関と連携し、良質な企業の誘致を推進する方向で進めているとのことです。
市の借金はどれくらいあるのですか。	相馬市の市債は、平成27年4月1日現在で249億円（一般会計142億円、公共下水道会計102億円、農業集落排水事業5億円）です。
建物がたくさんつくられていますが、維持費は大丈夫なんでしょうか。	市は震災以降、改築または新設した施設の維持経費として4,400万円の増額を見込んでおり、維持費の総額は7,700万円となります。また平成24年度にはカネボウ跡地などの土地代の繰り上げ償還を行い、平成25年度以降の歳出額を合計12億円削減しているとのことです。
①宇多川の中橋の改修の目途はいつですか。 ②宇多川の河川敷の整備をして欲しいのですが。	①7月中旬に入札予定、工事完成は28年3月の見込みです。 ②県は中橋と大橋の間の河川の土砂除去を今月11日より実施する予定です。
県の海岸復旧事業における土砂運搬のため、今年度より開始する八幡地区の土取場からのダンプの運行について、安全面の対策はどうなっているのですか。	県は交通安全対策として、小中学校交差点に交通誘導員を配置し、徐行運転を実施するほか、運行は通学時間を避け、朝8時30分からとしております。

・報告会を終えて

「開かれた議会」を目指して、それぞれの会場で大切な時間が持てました。みなさまからいただいた貴重なご質問、ご意見に対して、誠意をもって回答いたしました。ご来場のみなさまに感謝申し上げます。（第3班）